

令和8年度 東京都立墨田工科高等学校（全日制） 学校経営計画

目指す学校	【学校の教育目標】『生徒一人一人の知・徳・体の調和ある発達を図り、産業界が求める人材を育成する』 【校訓】「自治・勤労・敬愛」							
	●教育目標を達成するにあたり、教職員が一致団結して「丁寧に最後まで諦めない指導」で取り組む。また、自信や誇れるものがもてる生徒を育成するため、次に示す学校を目指す。 1 先端技術について企業等と連携した実証研究を実施し、その結果を踏まえて先端技術の活用に関する新たな指導方法を確立・展開を推進する学校 2 生徒一人一人を大切に育てるとともに、勤労観、職業観、企業観を養い、進路決定に向け教職員が組織的に取り組む学校 3 TOKYOスマート・スクール・プロジェクトを推進し、主体的・対話的な学びなど個別最適化された価値創造・課題解決型の学びにより生涯にわたって自ら学び続ける若者を育成する学校 4 確かな学力をつけさせるとともに、工業の基本的な技術から実践的技術を習得するため積極的に取り組む生徒を育てる学校 5 礼儀正しい挨拶や身だしなみ、さらに規範意識や社会性を身に付け、社会の発展に貢献できる生徒を育成する学校 6 ホームページやSNSを活用し開かれた学校として情報発信に努めるとともに、生徒や保護者、地域の信頼や期待に応え、中学生から選ばれる学校 7 安全教育を推進し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送れる基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質と能力を養う学校 8 社会の人材を積極的に活用し、日本のものづくり産業を継承できるものづくり人材を育成できる高校							
	1 学習指導	2 進路指導	3 生活指導	4 特活・部活	5 安全・健康教育	6 募集広報	7 学校経営・組織	8 企画室
中期目標	基礎基本の学力と工業技術の習得と新しい知識や技術に興味関心を高める授業内容の改善を図り、生徒の学習意欲の向上と主体的な学習態度を養い、学力や体力を向上させる。	多様化する進路希望に対応する丁寧な進路指導を確実に実現することを学校経営の柱に据え、全体計画に基いて、系統的・組織的にキャリア教育を推進するとともに、あらゆる教育活動に取り組む。	すべての教育活動を通して共生の心や思いやりの精神を育み、社会生活の基本的ルール、自らの権利と義務、自由と責任について認識を深めさせ、規律ある生徒の育成に取り組む。	学校行事の充実、部活動の全員加入を目指し、強健な体力と不屈の精神、明朗活発な風気を培う。また社会における組織を意識できる力とコミュニケーション能力を身に付ける。	安全で安心して学べる学習環境を確保するとともに、生き生きとした学校生活や社会生活が送れるように安全教育や健康づくりを推進する。 また、命の大切さ、生きることの意味を理解させる。	地域との交流、公開講座・施設開放などを通して、地域に貢献する開かれた学校づくりを学校全体で取り組む。また、本校の取組を積極的に発信し、目的意識の高い中学生の応募を促す。	Next Kogyo S T A R T Projectを推進し、教育内容や教育活動の質的な向上を目指す。また、授業評価、学校運営連絡協議会の学校評価を活用し、教職員の意欲と使命感を高め、学校の教育力を向上させる。	専門学科等での施設・設備の整備と充実と清新な学習環境を構築できるよう、校内の施設の環境整備を図る。適切確実な執務執行を図る。
重点目標・数値目標	基礎学力の確実な定着を図るとともに工夫ある教育活動の実施 ①朝学習の充実、学習教材等を有効活用し生徒の基礎学力向上 ②全教員による学習場面に応じたICT機器の有効な活用および「課題解決型学習(PBL)」「探求型学習」の実践的・体験的な学習活動の実施 ③各教科の補習・補講を3回以上/学期 ④総資格取得数は延べ700名以上、ジュニアマイスターブロンズ以上の顕彰者30名以上 ⑤教員相互の授業見学を年3回実施、一人年間3名以上の見学を通して授業改善を実施 ⑥「ものづくり特定分野推進校」の指定校として企業や関係機関と連携した講習会等企画・実施(3回以上) ⑦都統一体力テストは全国平均を目標	進路実現100%、実績の継続 ①学年、各科と連携し、インターンシップや企業派遣実習、工場見学会、専門分野の展示会見学等を積極的に実施し、実践的な技術・技能及び望ましい勤労観や就業観の習得に繋げる ②学校幹旋による就職希望者の内定率：100%を維持 ③大学進学希望者合格率：100%を維持 ④2年生のインターンシップは全員参加 ⑤確実な進路実現を図るガイダンス機能の強化(低学年から) ⑥系統的な指導によるキャリア教育を図り、就業体験等を充実 ⑦東商会員企業との交流会等に積極的に参加し、企業との交流を深め、進路先、連携先企業を開拓	生活指導統一基準を確立し、全教員による生活指導の実施 ①挨拶や身だしなみの徹底、規範意識の向上を全職員で指導し登校時に正門で挨拶指導及び身だしなみ指導の実施 ②頭髪・服装検査を全生徒対象に年間3回以上の実施 ③全教員が始業開始のチャイムで始め、終わりのチャイムまで授業を行い、生徒に「時間を守る」意識と習慣の定着 ④学校評価等では在校生満足度：90%以上、保護者90%以上 ⑤基本的な生活習慣の定着、皆勤・精勤の受賞者40%以上 ⑥いじめ総合対策に基づき、アンケート等を各学期実施し、全教職員による早期発見と未然防止の徹底を図る。いじめ：0件 ⑦ヘルメット装着率：90%以上	体罰、暴力的指導、暴言や行き過ぎた指導のない部活動等の実施 ①部活動における実活動部員については、年間を通して、全校生徒85%以上の加入率を維持 ②部活動年間活動計画の計画立案の徹底：100% ③部費の適正管理(通帳による管理、収支管理、現金出納簿の作成等)：100% ④部活動の活動状況を把握し、生徒の実態や活動実績に基づき、個々の部活動のあり方を見直し改善を図る。 ⑤生徒にボランティア活動を推奨し、社会貢献への自発的、自治的な取り組みによって社会奉仕の精神と社会の一員としての自覚と責任を養う。 ⑥学校行事の満足度の向上：生徒満足度80%以上(アンケートによる)	学校事故、重大事故ゼロの堅持 ①すべての教育活動において、安全教育、安全点検を徹底し、学校事故、重大事故ゼロの堅持 ②セーフティ教室(薬物乱用防止、交通安全教育、携帯電話安全管理等を年3回実施 ③自転車の安全運転に関する指導の徹底 ④学校保健委員会を年2回開催し、健康的な生活習慣の確立 ⑤現実的な課題に対応した防災訓練、避難訓練を年間4回以上実施 ⑥地元警察署や消防署等関係機関との連携強化を推進し、地域の交通安全、防災活動に向けた取り組みの充実を図る。 ⑦特別な支援を必要とする生徒への対応等に関する委員会の実施：学期に1回	広報活動を充実し、本校の理解促進と入試倍率増加を図る ①推薦選抜は1.2倍以上、学力選抜は1.1倍以上 ②学校説明会等来校者を総延者数1200名以上 ③在校生による実習風景を織り交ぜた中学生及び保護者が求める学校説明会の実施 ④全教員による110校以上の中学校訪問及び学習塾への訪問実施 ⑤在校生による母校訪問の実施 ⑥外部での説明会等10回以上の参加。出前授業：10回以上実施 ⑦ホームページの充実を図り週1回以上、X(旧ツイッター)等は随時の更新 ⑧Teamsや保護者連絡システム等の活用による保護者・生徒等との迅速かつ正確な連絡と遅滞防止の徹底	更に信頼と期待される学校へ、有機的、機動的な学校組織の確立 ①中途退学者を縮減させ進級率1学年で90%以上、2、3学年100%にする。 ②授業公開と授業公開週間を計画的に取り組み、年間3回以上実施する。 ③服務事故に関する校内研修を年2回以上実施し、事故の未然防止を徹底 ④月45時間以上の超過勤務：20%以内 ⑤各種会議の開始時間厳守及び上限時間(1時間以内)を設けて業務の効率化 ⑥教員の最新のデジタル技術・知識に加え、社会で実践的能力を高める教育と人財育成の充実を図る。 ⑦中途退学者率：1.5%以内	適正な予算執行と施設管理及び整備 ①私費会計の適正な管理に努め、保護者への説明責任に応えられる適正な会計処理の実施(学校徴収金未納による赤字執行ゼロの徹底) ②学校経営計画に基づく公開的な予算の編成及び執行に取り組み、効率的かつ有効的な予算活用とセンター執行率の向上に努める。 ③個人情報適切な管理・取り扱いの実施、個人情報漏えい防止の徹底(事故ゼロ) ④校舎老朽化にともなう施設・設備等の更新又は修繕等の安全性を優先した迅速な対応 ⑤SDGs(持続可能な開発目標)の推進
令和8年度	①生徒の実情に合わせた学習指導に取り組む、思考力、判断力、表現力を育成する。 ②ICT機器の活用と創意工夫を凝らしたわかる授業及びTeamsによる学習支援の推進 ③社会の人材を活用した事業等の実証研究と実施に伴う指導法の確立・展開 ④年間授業計画の確実な実施及び生徒の学力把握と授業評価に基づく授業改善 ⑤基礎体力の向上、都統一「体力テスト」を実施 ⑥オンライン学習データの充実に向けた学習教材の創意工夫と組織的・計画的な実施 ⑦学習意欲、進路意識の向上を図るため、各種コンテスト、コンクール、資格取得、検定、大会などに向けた指導の一層充実 ⑧各教科・特別活動等の教育活動を通して言語活動を充実させ、読解力、表現力・想像力・問題解決能力等の育成を図る。	①「キャリア教育の年間計画」を着実に実践 ②資格取得や検定合格に向けた講習等を計画的、組織的に実施(各科・各教科)確実な合格実績の向上。 ③2学年「全員参加のインターンシップ」を実施、望ましい勤労観・職業観を育む。 ④面接指導などの就職や進学に向けた指導を全校協力の下、実施 ⑤進路先の新規開拓に努め、多様な生徒の進路希望を実現する。 ⑥大学進学を目指す生徒へ早期の指導・補習を組織的・計画的に行い希望の実現を図る。 ⑦地域関係機関、企業等との連携による見学会等を実施し、社会人としての意識向上を図る。 ⑧企業交流会等における連携協力企業の開拓	①HR担任を中心に生徒の実態を適切に把握し、積極的に面談指導や三者面談等の相談活動の実施 ②生活保健部を中心に全教職員による指導を徹底し、進路活動にも適合する「身だしなみ指導」及び「挨拶指導」等を継続的にを行い、基本的生活習慣を確立 ③生徒と教職員の良好なコミュニケーションにより、生徒の健全育成及び欠席・遅刻・早退防止に全教職員で取り組む。 ④豊かな人間性と品格を高め、「誇れるもの」がもてるような指導を徹底し、命の大切さと生徒相互の友愛の心、自己肯定感を育成 ⑤心の健康の保持に係る教育などに取り組み、自殺対策に資する教育の推進(SO Sの出し方に関する教育) ⑥いじめ防止を学校組織全体で一丸となって取り組むなど対策強化の一層の充実 ⑦自転車乗車時によるヘルメット装着率の向上	①学校行事、各種集会、科集会等を通して、帰属意識を高めるとともに、集団生活への適応を図る指導の充実 ②部活動への全員加入、活動者数や活動実績の向上 ③部活動の活動状況を学校内外に発信 ④外部指導員の積極的な活用 ⑤生徒が楽しみながら運動やスポーツに参画し、体力の向上が図れるようTOKYOACTIVEPLANforstudentsを推奨する。 ⑥高度な知識・技術や工学的思考力・発想力を持った未来の「スペシャリスト」と「東京の課題を解決し得る次代のトップランナー」を育成する。 ⑦地域に向けた交通安全、災害対策等の啓発活動の充実を図るとともにボランティア活動を通して、生徒の自主性、自発性、社会性、連帯性等の育成を図る。 ⑧学校行事の活性化(文化祭、体育祭等)	①安全教育の一層充実、生徒、教職員の安全・防災(地震・火災・風水害)に対する意識の一層の向上 ②保健計画に基づく学校保健の取組、学校保健委員会の活性化により、心身の健康及び体力の保持増進について生徒自ら考え行動する力の育成 ③生徒の健康管理及び救急対応への校内体制を充実させ、安全・安心な学習環境の確保 ④薬物乱用防止、交通安全、健康に関する講演会の実施により、健康的な生活習慣の確保 ⑤養護教諭と学級担任の連携を深めるとともに、SCを活用しての教育相談活動の充実 ⑥特別な支援を必要とする生徒への対応を組織的に実施 ⑦スケアード・ストリート教育技法による自転車交通安全教室の実施 ⑧地域や関係機関と連携し、各災害に備える防災訓練、避難訓練を実施	①年間を通した教育活動などにより、特色ある教育活動を校内外に周知する広報活動の推進 ②ホームページやX(旧Twitter)をはじめとする広報・通信手段を改善し、生徒・保護者・都民のニーズに即した「学校の最新情報」の提供 ③公開講座・施設開放等により、本校の教育機能を広く公開し、都民へのサービスの向上に努める。 ④硬式野球部、サッカー部、ラグビー部、バスケットボール部、ものづくり(女子)の種目について「文化スポーツ等特別推薦」を実施、中学生対象の一日体験入部の開催などを通して、目的意識ある生徒の入学増進を図る ⑤全教職員による中学校訪問および広報活動を推進し、本校の特色や本校が期待する生徒像などの徹底周知 ⑥工科高校ドリームフェスタ、合同説明会・相談会、産業ときめきフェア等へ参加し、中学生や保護者ならびに地域への積極的な情報提供 ⑦中学校での出前授業等により工業の楽しさをアピールする。	①主幹教諭・主任教諭を軸に有機的な連携を図り、各分掌組織の機能向上 ②「学力向上推進プラン」に基づいた「授業評価」及び「校内研修」の適正実施 ③中途退学者率の減少 ④個人情報の適正な管理、体罰の防止、法令等の遵守、服務の厳正、教職員の接遇マナー向上 ⑤業務の効率化を徹底し、職員の在校時間を削減 ⑥デジタルリテラシー向上研修への積極的な教員参加 ⑦会議資料等のデジタル化やTAIMSPC等活用した会議等への取り組み強化 ⑧ライフ・ワーク・バランスの実現	①学校経営計画実現に向け、経営企画室の業務の充実を図るとともに、迅速な対応の実施 ②自律経営推進予算を計画的に執行し、センター執行割合の一層の向上 ③計画的な施設・設備の整備の実施 ④SDGsにともなう校内におけるペーパーレス化やノーマライゼーションの理念に基づく多目的トイレ等の設置の推進